



(子守り唄をうたう大井さん)



発行所
向日町役場
京都市乙訓郡向日町大字寺戸小字中野20
電話 075 (931) 1111 (代表)
編集・向日町役場
秘書 人事課

ふるさとの子守り唄を収録

向日区老 大井さん吹込む
人会 長



このほど京都市立総合資料館が、向日町公民館と協力して、町にある古い歌やわらべ唄を録音しました。
テープに吹き込んだのは、向日区老人クラブ会長、大井利吉さん(八十二歳)で、よく通ったしぐしで歌い終えました。
この下町娘の子守り唄は、七十年ほど前に歌われていたもので、

ねんね
なされま
せけう
は十五
日あず
はいつき
んの誕生
にち
誕生に
ちには小
豆(あん
ず)のま
またいて
誰にたえ
ささいと
さんい
……
ふるさと
の古い民謡
や子守り唄
を収録しよ
う——と

向日町独自の唄はなく、旋律は共通ですが、歌詞や節まわしが独特のものがありますね、ということ
です。
最近、町も都市化の様相をみせていますが、ふるさとのなつかしさという心遣いがうすれてきているように感じられます。
郷土を愛する心をつちかい、みんなで住みよの町づくりを築いていきたいと思います。
なお、公民館では、ふるさとの古い民謡や子守り唄の収録作業を今後もつづけていきます。

町では、大井さんの収録が二回目でした。一回目は、五月三十一日に、森本区で行なわれ、三曲を録音されました。曲目は、もみすりの唄、七草のはやし唄、子守り唄でした。
総合資料館の人の話によると、向日町独自の唄はなく、旋律は共通ですが、歌詞や節まわしが独特のものがありますね、ということ
です。

子守り奉公に働き出した娘さんが、こどもをあやしむながら唄った子守り唄ということ。
大井さんは、浄瑠璃、義太夫などが好きで、よく口ずさまれるなど、歌の好きなご老人です。
京都市立総合資料館では、京都市下各地を回り、各地独特の民謡やわらべ唄を収録し、テープに保存しておくという作業を進めているものです。



町の人口 (昭和47年6月1日現在)

男	19,989人	森本	3,982人
女	20,179	鶏冠井	4,485
計	40,168	西向日	1,390
世帯	11,576世帯	上植野	3,388
	◇	向日	1,140
物集女	3,172人	向日台	2,083
寺戸	20,528		